

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償：

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を著者・業務提携者は負いません。この冊子の作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報などがありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更を行う権利を有します。

天まで届いた？空飛ぶ三冠馬のディープインパクト

世の中には偶然を偶然と感じさせない出来事がたくさんあります。

父サンデーサイレンスと同じ誕生日のディープインパクトはまさに天からの競馬ファン・関係者へのプレゼントだったのではないかと思うんです。

サンデーサイレンスが死去した年に生まれてきたのもまさに運命以外の何物でもないと感じさせるディープインパクト。

その種牡馬としてのポイントを解説します。

1年目の産駒は不発かと思われたが、それでも終わってみればG1馬に4頭輝きました。

順風満帆なスタートを切ったディープインパクトの得意コースはもちろん直線が長く、広いコース。

父サンデーサイレンスが競馬界に革命を起こしたといっても過言ではない、スローからのヨーイ、ドンの競馬。

ディープインパクトもそんな競馬が得意。

この現代競馬のレースには賛否両論がありますよね。しかし、革命は起こったのでこれに競馬ファンはどう対応していくのか試されているのだと思います。

馬券のポイントは

① 人気馬には基本的には逆らえない

ディープインパクトの産駒はどうしても幼駒の頃から注目度が高く、人気になる要素が多い。しかし、人気を背負って走るのはまさに父譲りで期待に応える産駒が目立ちます。

② 血統の母父に注目する

これは父サンデーサイレンスも同じような特徴を持っていました。母父の特徴を良くも悪くも引き出すというのがディープインパクトにも見られます。

例をひとつ挙げるならハープスターが注目されていた頃、母父ファルブラヴという点が私は気になっていました。ファルブラヴの父フェアリーキングはあの大種牡馬サドラーズウェルズの全弟にあたる超欧州血統。長い距離もこなせそうに思われがちだが、ファルブラヴの産駒は日本で短いところを走る馬が多く出ていました。

あのオークスで負けたのは本質的にはマイラーだったのではないかと推測しています。

落鉄していることもメディアでは騒がれていましたが、個人的見解では距離の問題だったのではないかと。

③ 苦手を克服しつつある

これはこの記事を書いている2015年に夏ごろから持った印象。

今まではディープインパクトは小回りでは評価を下げるべきだということが広く知られていたと思います。でも、福島や札幌でも実は好走しているケースが多

いのです。

これは馬場が少しずつ改良されていることも考えられますが、ディープインパクトの②番の特徴が活かしていることも考えられます。母方に小回りに強い血統を持ち合わせていればこなせると思いますし、騎手も調教師もディープインパクトが種牡馬になって子供が馬場に出てちょうど5年が経ち分かってきた部分も含まれるのでしょう。

馬券的にもまだ小回りで人気を不用意に落としているディープ産駒がいれば美味しい馬券になるかもしれませんよ。

スプリント重賞馬も現れて、残るは長い距離の克服のみ。しかし現役時代一番強い競馬だと感じたのは天皇賞・春。母父にドイツ血統なんかを持ってきた場合にスピードもスタミナも兼ね備えた一流の万能馬が誕生する予感はしています。

産まれた時代がかみ合わず対決することのなかったキングカメハメハとの熾烈な種牡馬のリーディング争い。

どちらも牝馬三冠馬は輩出したので、最高の跡取りになる三冠馬をどちらが早く誕生させるかという観点で見ても競馬は面白いと思います。

以上、参考にさせていただいたら、幸いです。

感想などいただけると、嬉しいです。

ひろあ

メール：rimokon12@hotmail.com

HP: <http://keibanojiten.com/>